

## 国指定重要文化財における対策事例(史跡の老朽化対策)(岡山県津山市)

効果概要: 史跡 津山城跡では、排水対策を含む石垣の老朽化対策を実施。令和4年台風第14号で、城内の他の箇所への被害(復元建物である備中櫓の漆喰壁剥離等)が発生した一方、老朽化対策実施済の「二の丸東側石垣」では被害が生じなかった。また、令和5年台風第7号においても被害が生じなかった。

府省庁名: 文化庁

■ 実施主体: 岡山県津山市

■ 対策の概要:

石垣の老朽化対策

■ 事業費: 2.4億円

(うち5か年加速化対策(加速化・深化分) 0.4億円)

■ その他:

- 津山城跡では、平成30年7月豪雨にて法面が崩落するなどの被害が発生。
- 本事業は令和5年3月に完了したものであるが、令和4年の台風14号上陸時には概ね整備できていたため、城内の他の箇所への被害(復元建物である備中櫓の漆喰壁剥離等)が発生した一方、「二の丸東側石垣」では被害が生じなかった。
- また、令和5年の台風7号においては、隣町に所在する文化財において遊歩道が破損する被害が発生したが、津山城跡の整備済の石垣に被害は生じなかった。



老朽化対策工事



老朽化対策工事完了